

宝くじの助成金で「子ども神輿セット」を整備しました

一般財団法人自治総合センターが実施する令和2年度コミュニティ助成事業を受けて、原田下自治会が「子ども神輿セット」を購入しました。

コミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されるものです。原田下自治会は、「今後、子ども神輿を通じて、子ども達と一緒に地域を活性化していくきっかけとしたい」と話していました。



▲整備された「子ども神輿セット」

全日本中学校通信陸上競技大会で県大会2位!

8月10日(月)～11日(火)、博多の森陸上競技場で第66回全日本中学校通信陸上競技大会が開催され、森山翼さん(宇美中3年)が100mハードルで2位と輝かしい成績を収めました。また、8月29日(土)～30日(日)、博多の森陸上競技場で開催されたJOCジュニアオリンピック全国中学校陸上競技大会2020選考会にも出場し、100mハードルで2位となりました。自己ベスト(14'92)の走りをするも、全国標準記録にわずかに届かず、悔しい結果となりましたが今後の活躍がさらに期待できます。



▲力強く走り抜ける森山翼さん(左から2番目)

皆様のご長寿を心からお祝い申し上げます

9月の老人の日および老人週間のお祝いのため、今年度中に100歳を迎えられる方に国、県、町からお祝い状とお祝い品を郵送で贈呈しました。

今年度は町の町制施行から100周年を迎える年であり、町とともに100歳になる方は、10人(男性2人、女性8人)で、101歳以上の方は14人(男性1人、女性13人)、最高齢は109歳です。



▲今年度100歳になる中川昇さん

図書館読書まつり開催 10/24(土)・25(日)

日 時	時 間	催 し	会場など
9月22日(火・祝)～10月25日(日)	10時～閉館	プレイベント ブックリサイクル ※保存年限が切れた雑誌や寄贈図書などを提供 雑誌は、ジャンルごとに日程を決めて提供	図書館内 コリドール側(道路側)
10月24日(土)10月25日(日)	10時～閉館(なくなり次第終了)	手づくりしおりセットのプレゼント	館内 カウンター 本を借りたお子さん 各日先着50人に配布
10月24日(土)	第1部 受付10時30分 10時40分～10時55分 第2部 受付13時30分 13時40分～13時55分	読書ボランティア団体リレーおはなし会 子ども向けおはなし会 第1部 乳幼児向け 第2部 小学生向け	うみ・みらい館 研修室A 当日受付時 先着10人(保護者含む) 定員10人を超えた場合、1回目終了10分後2回目開催
	受付15時 15時10分～15時25分	読書ボランティア団体リレーおはなし会 大人のためのおはなし会	うみ・みらい館 研修室B 当日受付時 先着10人 定員10人を超えた場合、1回目終了10分後2回目開催
10月25日(日)	開場10時30分 11時～12時	人形劇「おかみと七匹の子やぎ」(子ども向け)	うみ・みらい館 多目的ホール 事前申込・先着50人(保護者含む) 申込期間 9月25日(金)～10月24日(土) 申込方法 図書館カウンター・電話
10月23日(金)～11月25日(水)	10時～閉館	町民みんなのいちおしBOOKの展示 ○「利用者おすすめ本」展示 ○「中高生のオススメ本」POP展示	館内 カウンター前 館内 YAコーナー

新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施します。
新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止する場合があります。
参加する方は、マスク着用をお願いします。(人形劇とおはなし会参加は、事前にご家庭で検温をお願いします)

11月の特集コーナー
●一般書コーナー
「町民みんなのいちおしBOOK」
●児童書コーナー
「本屋さんイチオシ」の100さこ

「なまえのないねこ」
竹下文子／文 小峰書店
「モノのなまえ事典」
杉村喜光／文 ポプラ社
●一般書
「できない男」
額賀澤／著 集英社
恋愛も仕事も冴えない地方在住デザイナーが、ひょんなことから農業テーマパークのコンペに挑戦することになり…。自分のダメさに向き合い成長する、大人の青春小説。



ざっくポラン
宇美町ボランティア情報

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。



問 まちづくり課
共働推進係
☎934-2370
FAX934-2371

令和2年度
共働事業実施団体
(2次募集分)が
決定しました!
共働事業提案制度とは?
地域課題の解決をはかり、より暮らしやすい魅力あるまちづくりを実現するため、町民活動団体と町が共働で実施する公益的な事業のことです。
うみ・ふれあい農園
今年度から共働事業を実施する団体で、多世代、地域内外、障がい者、外国の方などとの農業を通じた多世代交流、子どもたちの農業体験の機会拡充、食育の推進、農園を中心とした新たなコミュニティの形成・発展を目的に、共働での活動を開始しています。
これまでボランティア団体として活動を行われていましたが、昨年ふみらぼの事業として実施した親子のための夏休みボランティア体験プログラムで夏野菜の収穫体験を行った際は、普段できない農作業を子どもたちに経験してもらえ貴重な機会になったという感想が参加者から多く寄せられました。今後の活動については、SNSやチラシで周知される予定です。

